

## 読売新聞 きょう（9月23日）のイチ押し

### 1面・社会面など 4連休 人出戻る観光地

22日が4連休の最終日となり、行楽地は多くの人出でにぎわいを見せました。新型コロナウイルス対策も徐々に緩和され、イベント参加人数の制限が緩められて迎えた連休です。秋の行楽シーズンにさしかかった観光地を中心に訪れる人は大幅に増え、夕方には名神高速道路の京都東インター付近で23キロの渋滞が生じるなど、各地で混雑しました。

★スマートフォンの位置情報に基づく推計でも、この4連休は、緊急事態宣言前の4月上旬に比べて人の増加が顕著にみられました。京都・四条河原町付近では、緊急事態宣言前と比べて最大140%も人出が増えました。

### 社会面 被害金使用 関東に集中（本紙の特ダネです）

NTTドコモの電子決済サービス「ドコモ口座」を悪用した銀行預金の不正引き出し事件で、不正に引き出された被害金が使われたのは関東地方のお店に集中していることがわかりました。提携銀行からドコモ口座に不正に移された後、スマホ決済で、コンビニ店でたばこを購入したり、家電量販店で高額な電化製品を買ったりするのに使われていました。

ドコモ口座の多くは、身元が特定されないフリーメールを使って犯人が開設していました。提携銀行に口座を持っていれば、自身がドコモ口座を利用していくなくても被害に遭う可能性があります。提携銀行の口座をこまめに記帳するなどして出金をチェックし、不審な点があればすぐに銀行に相談することが大切なようです。

#### 他紙と比べて

読売KODOMO新聞は特集「受験新聞」をスタートしています。中学入試本番を想定した問題やニュース解説などを11回にわたって掲載します。9月24日号からは出題が予想されるテーマに沿って、過去問や想定問題を紹介する教科別特集です。中学受験生の強い味方になり、応援する紙面作りについて、1ページの特別面で詳しく紹介しています。